

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-3	5-1-2	事業名	子どもの映像制作体験事業		
担当	観光文化局文化市民文化課 大森 Tel211-2261					
全体計画						
事業内容	将来本市の文化振興の担い手となる子ども達に、プロの指導の下、本格的な映画制作を一から体験させ、本市の新しい映像文化環境を創出する。また、撮影の舞台に、芸術の森等本市の魅力ある場所を活用することで、シティPRに寄与することを目指す。		＜年度別の事業内容＞			
			【平成20～22年度】 各年度とも同規模の事業内容を想定			
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)			
	/		映画制作のワークショップを行い、撮影は芸術の森にて行った。完成後、上映会をシアターキノで行った。 実施主体:NPO法人北海道コミュニティーシネマ・札幌 講師:中島洋(映像作家、シアターキノ代表)、早川渉(映画監督、札幌国際大学講師) 対象:市内中学生17人 期間:4月～11月 ワークショップ:17回(説明会及び撮影を含む。) 撮影:芸術の森で3日間 上映会:シアターキノ(11/2)、コンカリーニョ(11/9)にアートステージの特別企画として上映 その他:ワークショップから撮影まで、札幌市立大学等の学生ボランティアによるサポートを受け、連携しながら行った。			
			平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
			映画制作のワークショップを行い、撮影は大通公園にて行った。完成後、上映会をシアターキノで行った。 実施主体:NPO法人北海道コミュニティーシネマ・札幌 講師:中島洋(映像作家、シアターキノ代表)、早川渉(映画監督、札幌国際大学講師) 対象:市内中学生20人 期間:5月～11月 ワークショップ:20回(説明会及び撮影を含む。) 撮影:大通公園で3日間 上映会:シアターキノ(11/15)、北海道立近代美術館(11/21)に全国中学生映画祭として上映 その他:ワークショップから撮影まで、札幌市立大学等の学生ボランティアによるサポートを受け、連携しながら行った。		映画制作のワークショップを行い、撮影は狸小路商店街にて行った。完成後、上映会をシアターキノほか3箇所で行った。 実施主体:NPO法人北海道コミュニティーシネマ・札幌 講師:中島洋(映像作家、シアターキノ代表)、早川渉(映画監督、札幌国際大学講師) 対象:市内中学生22人 期間:5月～11月 ワークショップ:22回(説明会及び撮影を含む。) 撮影:狸小路商店街で3日間 上映会:シアターキノ(10/24)、北海道大学クラーク会館(10/29)にクラークシアター2010オープニングイベントとして上映、北海道立近代美術館(11/14)に全国中学生映画祭として上映 その他:ワークショップから撮影まで、札幌市立大学等の学生ボランティアによるサポートを受け、連携しながら行った。	
規模						
件数等						

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-3	5-1-2		事業名	子どもの映像制作体験事業					
達成目標の状況										
項 目				18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
参加者数(累計)				—	—	17人	37人	59人	50人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)										
<p>■市民との連携、市民参加 NPO法人が事業を企画立案し、実施する市民主導の事業であり、中学生の参加によって成り立つ、市民参加型の事業でもある。また、学生ボランティアと協力、連携しながら事業を進める。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力] 企画から実施まで、映像関係のNPO法人が主体となって行うため、専門家のノウハウを子どもたちに提供できる。 [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 市内の中学校にチラシを配布し広く参加を呼びかけており、市民が参加しやすい環境を創出している。</p>										
評 価 (成 果)					課 題					
<p>中学生22名が参加し、約半年をかけて自分達の手により企画から演技、撮影、編集までを行い、創造する喜びや社会性を学ぶ貴重な体験を得ることができた。</p> <p>作品の一般への公開は10月24日にシアターキノで、10月29日に北海道大学クラーク会館でクラークシアター2010オープニングイベントとして、11月14日に北海道立近代美術館で全国中学生映画祭としてそれぞれ上映するなど本市の映像文化振興に貢献することができた。</p>					<p>参加できる児童数に限りがあることから、完成した作品を広く市民に鑑賞する機会を提供し、事業効果の波及を図っていきたい。</p>					
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向										
<p>平成23年度以降についても、同規模で継続していくことで、事業の定着を図る。</p> <p>また、スタッフ以外の市民からも協力を得ながら、事業効果を波及し、地域のまちづくりにも寄与する事業としていきたい。</p> <p>事業費用については、民間協賛金の活用なども視野に入れて、検討を行う。</p>										

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-3	5-1-2	事業名	子どもの映像制作体験事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	1,700	1,650	1,650	5,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	0	1,700	1,650	1,650	5,000		
予算	事業費	0	1,000	1,000	1,000	3,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	0	1,000	1,000	1,000	3,000		
実績	事業費	0	1,000	1,000	1,000	3,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0	0	0	
	市の債	0	0	0	0	0	
	その他の	0	0	0	0	0	
一般財源	0	1,000	1,000	1,000	3,000		
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)				60.0%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
《全体》 [19年度] [20年度] 経費を精査し、計画時よりも予算規模を縮小して実施することとした。 [21年度] 経費を精査し、計画時よりも予算規模を縮小して実施することとした。 [22年度] 経費を精査し、計画時よりも予算規模を縮小して実施することとした。							